

オーストラリア金融政策(2017年10月) ～政策金利の据え置きを継続～

2017年10月3日

お伝えしたいポイント

- ・ RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置き
- ・ 景気回復の進展に伴い、政策金利の引き上げが徐々に意識されていくか

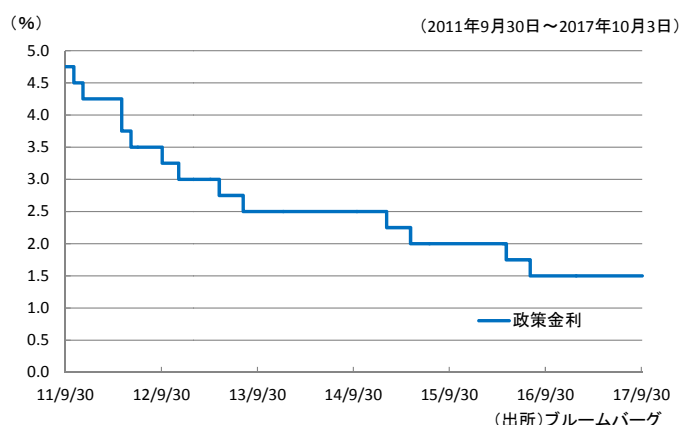
<RBAは政策金利を1.5%に据え置き>

2017年10月3日(現地)、RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を発表し、1.5%に据え置きました。据え置きは事前の市場予想通りでした。

声明文では、4-6月期の実質GDP(国内総生産)成長率が前期比+0.8%となったことなど、最近発表されたデータはRBAの予想通りとし、オーストラリア経済が来年に向けて緩やかに回復していくとの見解が示されました。その背景として、RBAは非資源部門で投資が上向きつつある兆しがみえることなどを指摘しています。

金融政策に関しては、RBAは引き続き中立的な姿勢を維持しており、当面の政策金利の据え置きを示唆しました。

《政策金利の推移》



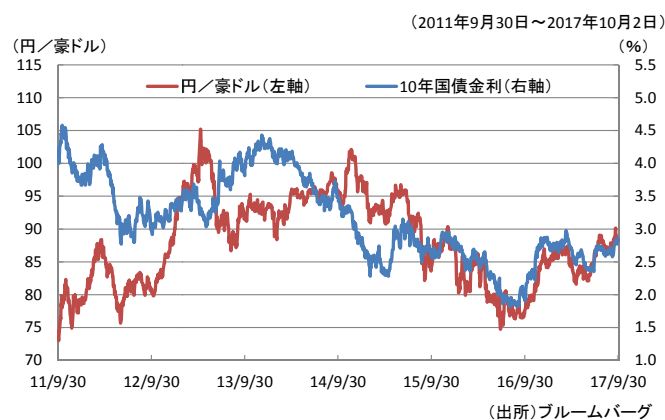
<景気回復の進展に伴い、政策金利の引き上げが徐々に意識されていくか>

雇用環境の改善が続いているオーストラリアでは、今後の賃金上昇を通じた物価上昇に期待がもてそうです。景気回復の進展に伴い賃金上昇率の高まりが少しずつ確認されていけば、物価上昇への期待の高まりと共に、政策金利の引き上げが意識されていくものとみています。

為替相場については、堅調な中国経済が豪ドル相場の押し上げに寄与しているとみられます。ただし、通貨高が急ピッチで進んだ場合には、ファンダメンタルズ面へのマイナスの影響を考慮し、RBAは通貨高をけん制する姿勢を示すと考えられるため、豪ドル相場は短期的には一進一退の推移になるとみています。

以上

《為替と国債金利の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のオーストラリアに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

◇マーケットレター

- ・オーストラリア金融政策（2017年9月）～政策金利は据え置き、賃金の伸びはいまだ低調も今後期待～（2017/9/5）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170905_2.html
- ・オーストラリア金融政策（2017年8月）～政策金利は据え置き～目先の為替市場のテーマは金融政策よりも資源価格～（2017/8/1）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170801_1.html
- ・最近の豪ドルはなぜ上昇しているのか？（2017/7/21）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170721_2.html
- ・オーストラリア金融政策（2017年7月）～政策金利は据え置き～移民による人口増加を背景に長期的な経済成長を見込む～（2017/7/5）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170706_1.html
- ・オーストラリア金融政策（2017年6月）～政策金利は据え置き～インフラ投資をエンジンに成長持続へ～（2017/6/6）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170606_2.html
- ・オーストラリア金融政策（2017年5月）～政策金利は据え置き。将来の利上げ時期が早まる可能性。～（2017/5/2）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170502_1.html
- ・豪州は政策金利の据え置きを決定～利上げを急がない姿勢を示す（2017/4/5）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170405_2.html
- ・【ファンドマネージャーの運用ノート】資源価格反発と保護主義の台頭から、オーストラリアの魅力が高まる環境へ（2017/2/20）
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170220_1.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>